

神奈川歯科大学
神奈川県同窓会

4月



第2回 学術講習会 総義歯イノベーションー総義歯100年の匠の技

デジタル義歯製作にどう繋げるかー

講師:前畑 香先生
生田 龍平先生
渡辺 宣孝先生
玉置 勝司先生

開催日 4月10日(日)10:00~16:30

開催方法 Web開催

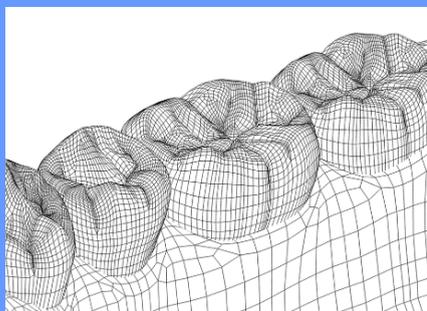
お申込み 下記URLから参加登録をお願い致します。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_eIK2UdbYScilSFS41iOO5w

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

担当理事 井上理事

FAX番号 046-822-1851 まで



メインタイトル:『総義歯イノベーションー総義歯100年の匠の技 デジタル義歯製作にどう繋げるかー』

本講演会のねらい→当教室でこれまでに取り組んできた研究、また各講師の先生が日常臨床で取り組んできた臨床の意義・目的と匠の技を発表頂き、それらをデジタル義歯製作にどのように活かせるかを発表する。

10:00～10:15

開会の辞:神奈川県同窓会支部より 会長、学術委員長

はじめに 玉置勝司から挨拶

10:15～11:15

講師①:前畑 香

サブタイトル:アナログ製作された総義歯のデジタルデータ化へのイノベーション

講演概要:演者は、これまでに修得したアナログ義歯製作をベースに、日常臨床においてデジタル化義歯の臨床応用に取り組んでいる。特に、現在の人工歯の排列のデジタル化においては、海外製の排列ソフトを使用するため、日本人に適応した人工歯排列情報ではないのが現状である。本教室では、総義歯人工歯排列形状のデジタル化を目指し、1歯1歯手作業で排列された総義歯歯列情報から、総義歯の平均的人工歯歯列弓形状を算出することができた。本講演では、この歯列形状をもとに考える“総義歯のデジタルデータ化”へのイノベーションについて報告する。(252文字)

11:20～12:20

講師②:生田龍平

サブタイトル:歴史からみる総義歯排列のデジタル化へのイノベーション

講演概要:総義歯製作における排列は重要ポイントのひとつである。印象、顎位が同じでも排列によって噛めたり噛めなかったりする。そこで今回Gysi、Gerber、Poundの排列を紹介し、それぞれのポイントを考え患者さんの条件にあった総義歯の排列を考えたい。またデジタル化は世界でも急激に進化を遂げている。デジタル化に向けて今出来ること、出来ないことを整理し今後の展開を考えてみたい。

13:30～14:30

講師③:渡辺宣孝

サブタイトル:連結人工歯を使用した咬合採得のイノベーション

講演概要:卒業して40数年経つが総義歯作製の手順は何ら変わっていない。近年総義歯製作に関してデジタル化の話がよく見られるが、それには生理的に良い総義歯のデータベースが出来ていなければ患者さんにデジタル化された良い義歯は提供できないと考えられ、具体的には各ステップの簡略化(印象採得、模型の作成、咬合採得法、人工歯排列法等)が挙げられる。今回特に人工歯排列の簡略化とロウ堤を使用せず、連結人工歯を利用した生理的な咬合採得法を中心にお話する。

14:35～15:35

講師④:玉置勝司

サブタイトル:100年のアナログ義歯の知識と技術をデジタル義歯に、そして健康寿命の延伸に向けたイノベーション

講演概要:1. 高齢者の義歯装着の現状:世界における義歯装着者の現状、特に総義歯の現状について

2. 義歯の装着意義と目的:高齢社会に向けたこれからの義歯装着のコンセプトについて

3. 義歯製作のアイデアのデジタル化:アナログ技術のデジタル化義歯のイノベーションについて

4. そのための教育と能力:歯科医師、歯科技工士の意識のイノベーションについて

15:40～16:30

総合ディスカッション

あなたはZoomウェビナーに招待されました。

開催時刻: 2022年4月10日 10:00 AM 大阪、札幌、東京

トピック: 神奈川歯科大学神奈川県 同窓会 第2回 学術講演会

このウェビナーに事前登録する:

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_elK2UdbYSciISFS41iOO5w

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。